



平成 23 年度予算のポイント

なかとうほく
『中東北拠点都市への基礎づくり予算』

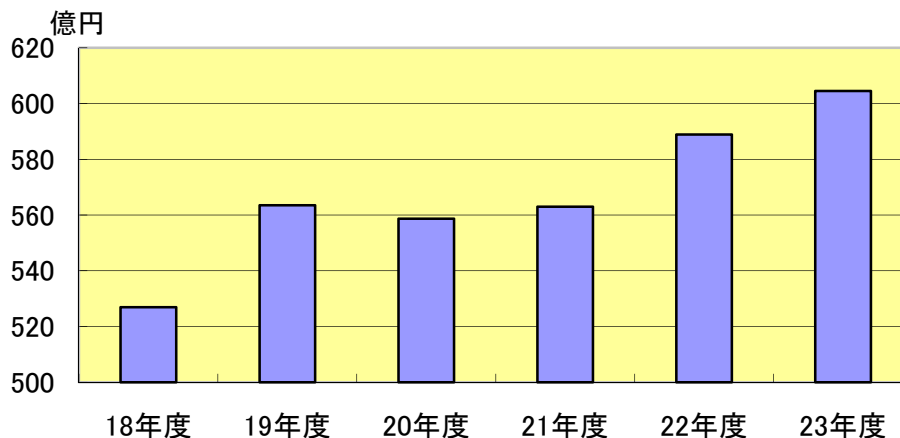
次代を担う子ども達の健康を守ることに主眼を置き、子育て支援と暮らしやすい環境を充実させ、市独自の雇用対策などの実施と併せて定住促進にもつなげていきます。さらに、公共施設の再配置や長寿命化など次世代につなぐまちづくりを進めていきます。

これらソフトとハードの両面から、中東北の拠点都市としての基礎づくりを進めていく予算です。

1. 予算の規模

一般会計予算額 604.5億円 (前年比 +15.6億円 +2.7%)

◆当初予算額として合併後最大の規模となる積極型予算



年度	18	19	20	21	22	23
当初予算額 (億円)	526.9	563.5	558.7	563.0	588.9	604.5
前年比 (%)	2.3	6.9	△0.8	0.8	4.6	2.7

全会計予算額 838.8億円 (前年比 +19.5億円 +2.4%)

※一般会計、特別会計 (13 会計)、水道事業会計の単純合算額

2. 中東北拠点都市形成特別推進事業

中東北の拠点都市としての基礎を築くために、早急に取り組む必要があることから、特別に事業予算を確保して実施する事業です。

【事業費計 6億3,159万円】

(1) 小学生医療費の無料化 **新規** 1億6,215万円

市内小学生の健康を増進し、保護者の経済的負担軽減により子育て環境を充実させるため、これまで乳幼児を対象に実施してきた医療費の無料化を新たに小学生まで拡大（所得制限なし）。

(2) 「真ん中」の雇用対策 **新規** 617万円

新規学卒者や職を失った方を対象としたいわゆる「入口と出口」の雇用対策と併せ、市として独自に、現在雇用されている社員が定着するための「真ん中」の雇用対策として新たに実施する、地域企業パワーアップ支援、企業の魅力発信力向上、立地企業操業支援。

(3) 市有財産活用推進事業 **新規** 2億5,627万円

中東北の拠点都市形成に必要な社会資本整備を進めるため、既存の市有財産の長寿命化と有効活用と、良好な施設環境の整備を計画的に進める事業。

(4) 世界遺産登録に向けた支援と受け皿づくり **新規** 9,034万円

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた支援策の一環として、また「平泉の玄関口」としての受け皿づくりのため、世界遺産登録祈願ウォーキング、県や平泉町等と連携した登録記念事業、西口北駐車場の拡張、大型看板の設置、平泉ナンバーの実現に向けた取り組みを行う。

(5) コミュニティFM局の開設準備 **新規** 1,760 万円

地域情報と防災情報を配信するコミュニティFM局の開局に向け、運営会社の設立や免許取得などの開設準備を行う。

(6) JR駅前へのトイレ整備 **新規** 8,719 万円

各駅のコンパクト化と併せて撤去されたトイレの再建を望む声を受け、8か所のJR駅に公衆トイレを整備（うち1か所は建て替え）。

(7) 「地域の宝」を守る取り組み **新規** 708 万円

高野長英の希少な遺構とされ重要な建物である「小森塾」の復元修理に対する助成と、長年の懸案となっていた国登録有形文化財「旧東北砕石工場」の改修実施設計を行う。

(8) 学術研究都市構想の推進 **新規** 400 万円

学術研究都市としての将来的なまちづくりを展望するための土地利用、交通環境、定住環境等の基礎調査を実施。

(9) 県際の地域連携 **新規** 79 万円

宮城県栗原市、秋田県湯沢市・東成瀬村との4市村で構成する「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」を通じ、各市村が連携して各種の観光振興事業を実施。

3. 重点施策

「中東北」の拠点都市一関の形成

雇用対策

企業育成

産業振興

教育・人材育成

保健・福祉・医療の連携強化

地域コミュニティの自立支援

環境対策

内陸地震からの復興と教訓を生かしたまちづくり

平泉文化遺産の世界遺産登録に向けた支援

重点施策に係る主な事業

(※) は中東北拠点都市形成特別推進事業

「中東北」の拠点都市一関の形成

1. 広域的な幹線道路網の整備 12億842万円
矢ノ目沢金沢線・清水原一関線、真滝中央線、宿外山線・福泉宿線、沖線、
松川駅館下線【新規】、丸木・舞川線【新規】、山目駅前釣山線
2. 藤沢町との合併の推進 1億4,782万円
両市町間のネットワーク構築など合併準備経費、合併準備会負担金
3. 市有財産活用推進事業 (※) **新規** 2億5,627万円
 - (1) 既存施設の長寿命化を図るための維持補修事業 8,148万円
◆各種施設における屋根、外壁、内装、床面等の修繕や塗装 など
 - (2) 快適な利用に資するための設備改修等 7,631万円
◆保育園、児童館、小中学校保健室、公民館等へのエアコン設置
◆各種施設における暖房設備の更新、機能充実のための増改築 など
 - (3) 高齢者等の利用に配慮した設備改修等 4,140万円
◆各種施設におけるトイレの洋式化、段差解消 など
 - (4) 未利用施設や用途を失った施設を解体し、敷地売却等により民間利用を
促進するなど市有地の有効活用を図る事業 5,708万円
◆旧弥栄幼稚園 ◆旧流通団地給水施設 ◆大東勤労青少年ホーム
◆旧室根畜産センター ◆旧天狗田小学校 ◆舞川公民館下相川分館 など
4. 地域連携事業 249万円
ゆっくりひとめぐり栗駒山麓観光振興事業 (※)、伊達な広域観光推進協議会
負担金、黄金王国推進委員会負担金
5. 学術研究都市構想策定事業 (※) **新規** 400万円
学術研究都市としての将来的なまちづくりを展望するための土地利用、交通
環境、定住環境等の基礎調査

一関市の雇用対策

「入口と出口」の対策

《新規学卒者・離職者・求職者を対象とした支援》

県の基金を活用した事業

- ◆緊急雇用事業
- ◆重点分野雇用創出事業
- ◆地域人材育成事業
- ◆ふるさと雇用再生特別基金事業
- ◆若年者就業支援相談事業
- ◆ふる里就職ガイダンス開催事業
- ◆Uターン就職促進事業
- ◆新規学卒者・求職者研修事業
- ◆求職者就職支援職業訓練事業補助金
- ◆離職者対策資金利子補給補助金
- ◆雇用相談員の配置
- ◆住宅手当緊急特別措置事業
- ◆ふるさとハローワークの運営
- ◆就労自立支援員による就労支援

《小中学生・高校生・高専生を対象とした事業》

- ◆キャリア教育支援事業【新規】
- ◆地域企業情報ガイダンス開催事業

+

一関市独自の「真ん中」の対策 ＝社員が定着するための対策

《新入社員・若手社員の人材育成を対象とした支援》

- ◆新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金
- ◆次世代ものづくり人材育成事業

《主に中堅社員を対象とした人材育成、資格取得等の支援》

- ◆企業の魅力発信力向上事業【新規】
- ◆立地企業操業支援事業費補助金【新規】
- ◆人材育成事業費補助金
- ◆技能・技術等資格取得支援事業
- ◆地域産業界ひとづくり支援事業【新規】

《経営者・管理者等を対象とした支援》

- ◆地域企業パワーアップ支援事業【新規】

+

※「企業育成」も含めた対策

経済対策事業等の実施による雇用の確保・創出

雇用対策

1. 緊急雇用事業【県の基金事業】 7,300万円
市道環境整備など7事業 【新規雇用者52人】
2. 重点分野雇用創出事業【県の基金事業】 **拡充** 1億167万円
地域資源販路開拓など24事業 【新規雇用者51人】
3. 地域人材育成事業【県の基金事業】 **拡充** 1億3,033万円
林業者育成など8事業 【新規雇用者55人】
4. ふるさと雇用再生特別基金事業【県の基金事業】 1億3,710万円
介護保険事業所人材確保支援など20事業 【新規雇用者52人】
5. 新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金 1,600万円
新規高卒者の地元就職と定着を図るため、新規高卒者を採用した雇用主に研修の実施等人材育成費用として20万円を助成
6. 地域企業パワーアップ支援事業（※） **新規** 212万円
企業経営者、管理・監督者を対象に、若い人材等の定着を図るセミナーを開催
7. キャリア教育支援事業（※） **新規** 547万円
キャリア支援員・キャリアサポーターによる小学生職場体験事業、中学生職場体験出前講座、高校生ガイダンス、新入社員向けセミナーの開催など
8. 各種就業支援 999万円
若年者就業支援相談〔ジョブカフェ関〕、地域職業相談室〔一関市ふるさとハローワーク〕、雇用相談員配置、ふる里就職ガイダンス開催事業、Uターン就職促進事業、新規学卒者・求職者研修事業、求職者就職支援職業訓練事業補助金

企業育成

1. 地域企業の人材育成・経営強化・連携促進に対する支援 3,483万円

(1) 企業の魅力発信力向上事業（※） **新規** 205万円

社員の定着と企業の魅力発信を目的に情報発信の有効性を知るセミナーを開催するほか、市ホームページを通じて企業が情報発信できる仕組みを構築

(2) 人材育成事業費補助金 934万円

岩手県南技術研究センターや東磐職業訓練協会が行う若手技術者の育成事業に対する助成

(3) 次世代ものづくり人材育成事業 13万円

製造業を中心とした中小企業の若手職員を対象に合宿研修とフォローアップ研修を実施

(4) 地域企業情報ガイダンス開催事業 50万円

一関高専卒業生の地元定着を図る企業説明会の開催

(5) 地域企業経営強化支援事業費補助金 2,000万円

市内中小企業の事業拡大を支援するため、設備投資に要する経費の一部を助成

(6) 取引支援促進事業費補助金 200万円

国・県等が主催する展示会出展経費等に対する助成

(7) 企業ネットワーク推進事業 81万円

企業情報交換会の開催、産学官イブニング研究交流会の共催

2. 企業立地の促進 1億8,395万円

企業立地促進奨励事業費補助金、企業設備投資奨励補助金、企業立地促進資金利子補給補助金

3. 立地企業操業支援事業費補助金（※） **新規** 200万円

新規立地企業の操業にあたり、新規採用者に係る人材育成経費や社員研修費等を助成

4. 一関東第二工業団地立地促進事業 8億6,929万円

立地企業に対する用地取得費の30%助成を含む企業立地促進奨励事業費補助金、情報発信等

産業振興

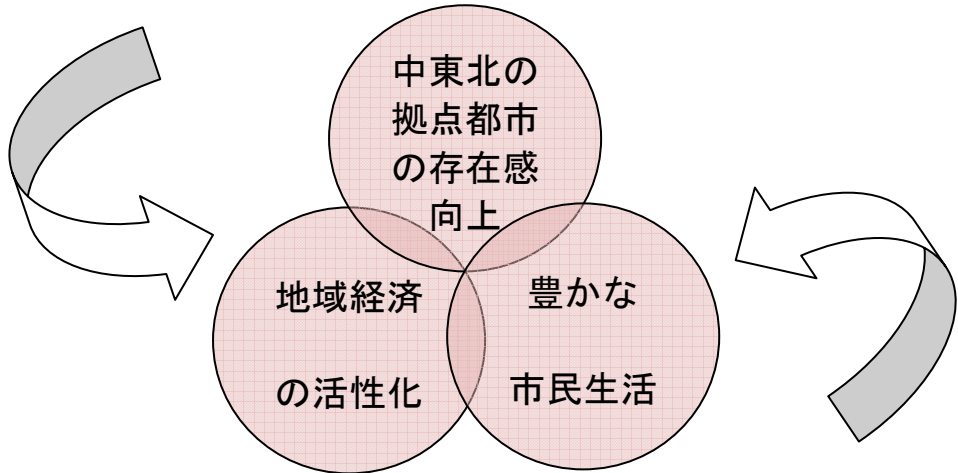
1. 「地産外商」の推進 **新規・拡充含む** 6,769万円
 - ◆販路拡大に係る事業 12事業 4,364万円
 - ◆情報発信に係る事業 9事業 2,405万円※他の項目で掲載している事業も一部含まれています。
2. 農業経営体の育成・強化 **拡充** 7,114万円
いわて未来農業確立総合支援事業費補助金、担い手育成対策事業、新規就農者支援資金貸付金
3. 農業基盤整備の促進 1億2,781万円
県営基盤整備事業負担金、県営ため池等整備事業負担金、県営土地改良調査事業負担金、県営土地改良施設耐震対策事業負担金、県営畑地帯総合整備事業負担金
4. 農産物の産地づくり 4,814万円
野菜花き生産振興事業補助金、しいたけ等特用林産物生産対策事業補助金、肥育素牛地域内保留対策事業費補助金、繁殖牛生産振興対策事業費補助金、酪農振興総合対策事業費補助金、いわて南牛振興協会負担金、一関のめぐみブランド化推進事業
5. 資金融資枠の確保と利子・保証料補給 6億2,349万円
低利な中小企業振興資金貸付金の原資預託（融資枠50.6億円）、同資金と岩手県小規模小口資金に係る一定の利子補給と保証料の助成
6. 年末年始連合大売り出し事業補助金 524万円
年末年始の連合大売り出しでの共通商品券事業に対する助成
7. 商店街活性化事業補助金 **拡充** 500万円
商店街の賑わいや活性化を図るため、一定の要件を満たす空き店舗への入居者に対し、開店に要する店舗内外装費用の一部を助成
8. 大型観光キャンペーンの推進 **新規** 241万円
平成24年4月から6月に開催される「いわてデスティネーションキャンペーン」に向けて実施するPR事業、推進協議会負担金

「地産外商」の推進

当市の全国に誇れる農産物や特産品を、生産者や関係団体と一体となって県内外に積極的に売込む取り組みを進めています。

販路拡大

- | | |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">元気な地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一関ブランド推進事業【新規】 ◆一関の味覚！届け隊【新規】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆一関ふるさと便、大東うぐいす便、千厩うまっこ便、室根まごころ便 ◆いわて南牛振興協会負担金 ◆地場産品育成事業 ◆一関の物産と観光展開催負担金 ◆大東観光物産協議会補助金 ◆取引支援促進事業費補助金 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆地場産品拡大と街なか店舗再生事業 ◆地域資源活用促進事業 ◆地域資源販路開拓事業 ◆P F アジサイ技術拡充・販売促進事業 | |



情報発信

- | | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">元気な地域づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東山和紙えとせとら事業【新規】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ゆっくりひとめぐり栗駒山観光振興事業（※）【新規】 ◆大型観光キャンペーンPR等事業【新規】 ◆ふるさと千厩活性化推進事業 ◆一関温泉郷宣伝事業 ◆企業の魅力発信力向上事業（※）【新規】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆一関のめぐみブランド化推進事業 ◆一関体験型ツーリズム観光窓口集約化事業【拡充】 ◆東山和紙書道展開催負担金【新規】 | |

教育・人材育成

1. (仮称)大東小学校整備事業 4億5,920万円
摺沢小学校、渋民小学校、曾慶小学校の3校の統合による小学校の建設
2. (仮称)千厩学校給食センター整備事業 6億4,560万円
千厩地域、室根地域、藤沢町の12小中学校を対象とした学校給食センターの建設
3. 図書館の建設 1億1,160万円
一関図書館と花泉図書館建設の実施設計
4. 体育施設の移転整備 10億4,090万円
一関水泳プールの一関市総合体育館隣接地への移転整備、青葉テニスコートの一関運動公園への移転整備
5. 特別支援教育の推進 **拡充** 4,338万円
特別支援コーディネーター【増員】、学校サポーター(小中学校)【増員】、きめ細かな指導支援員(幼稚園)の配置
6. 全国高等学校総合体育大会開催事業 **拡充** 2,415万円
8月に当市を会場として行われるインターハイ(体操競技)の実行委員会負担金、開催PR事業、歓迎事業等
※元気な地域づくり事業などで実施する関連事業も含まれています。
7. 生涯スポーツの推進 357万円
平成28年度の岩手国体開催を見据えた選手強化・指導者育成事業【新規】、スポーツ選手等との交流によるスポーツに親しめる環境づくり事業
8. 旧東北砕石工場改修事業(※) **新規** 498万円
石と賢治のミュージアムの構成施設で、国登録有形文化財となっている旧東北砕石工場の大規模改修に向けた実施設計
9. 中学生最先端科学体験研修事業 **新規** 168万円
中学生(60人)を対象に、科学技術に関する国の機関等が集積している筑波研究学園都市で宿泊体験研修を実施

保健・福祉・医療の連携強化

- 1. 小学生医療費の無料化（※）** **新規** 1億6,215万円
市内小学生の健康を増進し、保護者の経済的負担軽減により子育て環境を充実させるため、これまで乳幼児を対象に実施してきた医療費の無料化を新たに小学生まで拡大（所得制限なし）
- 2. 乳幼児医療費の無料化** 1億4,323万円
出生時から就学前の児童までを対象に、県の助成制度（所得制限あり、自己負担あり）に市が独自に上乗せして所得制限なしで医療費を無料化
- 3. 個別予防接種の無料化** 2億8,536万円
子宮頸がん予防ワクチン【拡充】、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン【新規】、小児用肺炎球菌ワクチン【新規】、日本脳炎ワクチンについて、それぞれの基準接種対象者の予防接種費用を全額無料化
- 4. 第3子以降保育料の無料化** 1億1,627万円
公立・私立を問わず、第3子以降の保育園、幼稚園等の保育料を無料化（所得制限なし） ※事業費には市立幼稚園・保育園の保育料減免額が含まれています。
- 5. （仮称）保健福祉センター整備事業** **新規** 3,360万円
一関保健センターに保健・福祉の複合的センター機能を備えた新たな施設整備の基本設計
- 6. 介護サービス施設の整備促進** **拡充** 10億1,164万円
第5期介護保険事業計画の前倒しによる小規模特別養護老人ホーム等の整備と施設開設準備に係る経費に対する助成
- 7. 医師修学資金貸付事業** **新規** 1,120万円
地域の医師確保を図ることを目的に、将来医師として市内の指定医療機関に勤務しようとする方を対象に修学資金の貸し付けを行う
- 8. 地域医療・介護連携推進事業** **新規** 500万円
地域における医療資源を有効に活用するため、医療と介護の連携体制づくり、医療・介護従事者の資質の向上等を図る事業
- 9. 高齢者福祉乗車券事業** **拡充** 6,094万円
これまで80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象としてきた高齢者福祉乗車券（タクシーやバス料金の一部助成）を70歳以上の高齢者世帯等へ対象を拡大

地域コミュニティの自立支援

1. いちのせき元気な地域づくり事業 **【拡充】** 6,150万円
地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色のある地域づくりのための事業を実施
 - ◆一関地域 9事業
 - ◆花泉地域 8事業
 - ◆大東地域 11事業
 - ◆千厩地域 6事業
 - ◆東山地域 9事業
 - ◆室根地域 11事業
 - ◆川崎地域 16事業
 - ◆広域事業〔新設〕 7事業

2. 地域おこし事業など地域づくり活動に対する支援 1億928万円
 - ◆地域おこし事業費補助金【拡充】
 - ◆自治会等活動費総合補助金【拡充】
 - ◆地域協働体支援事業費補助金【拡充】
 - ◆地域活動支援人材確保推進事業【新規】
 - ◆地域活性化モデル支援事業費補助金【新規】
 - ◆一関地方グリーン・ツーリズム推進事業
 - ◆地域間交流事業

3. 協働によるまちづくりの推進 2,997万円
 - ◆市民活動推進事業【拡充】
 - ◆市民協働支援事業
 - ◆協働でつくるきれいなまち推進
 - ◆景観まちづくり活動支援補助金【新規】
 - ◆ふれあいの道づくり推進事業【新規】

4. 小森塾復元整備事業補助金（※） **【拡充】** 210万円
高野長英の希少な遺構とされ重要な建物である「小森塾」の復元修理に対する助成

5. 地域に根差した文化財や伝統文化の保存・継承 500万円
 - ◆指定文化財保護事業補助金【拡充】
 - ◆郷土芸能活動費補助金【拡充】

6. まつりや地域イベント等に対する支援 2,918万円
各地域の夏まつり開催事業負担金、水かけ祭り保存会事業費補助金、唐梅館絵巻実行委員会補助金、一関春まつり開催事業補助金 等

環境対策

1. JR駅前トイレ整備事業（※） **新規** 8,719万円
JR大船渡線の真滝駅、陸中門崎駅、岩ノ下駅（建て替え）、陸中松川駅、小梨駅、矢越駅、折壁駅、東北本線の山ノ目駅の8か所に公衆トイレを整備
2. 新エネルギー等導入事業費補助金 350万円
新エネルギーの導入を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置経費に対し1kWあたり1万円を助成
3. 資源リサイクル事業 1,107万円
自治会やPTA等による集団回収により、地域ぐるみの資源リサイクル活動を促進
4. 地球温暖化対策など環境に関する意識の醸成 218万円
地球温暖化に関する啓発事業、エコ友チャレンジ事業、水生生物調査の実施、自然観察会・スターウォッチングの開催、生ごみ減量機器購入事業補助金
5. 下水道・浄化槽の整備 15億1,333万円
公共下水道整備事業、浄化槽整備事業、浄化槽設置整備事業補助金
6. 公用車へのハイブリッド車導入 735万円
公用車の老朽化等に伴う更新にあたり、うち3台をハイブリッド化
7. 市役所の環境マネジメントシステム導入 **新規** 48万円
国から特定事業者としての指定を受けた事業所として、エネルギー使用量の適正管理等を行うためのシステムを導入

内陸地震からの復興と教訓を生かしたまちづくり

1. コミュニティFM開設準備事業（※） **新規** 1,760万円
地域情報と防災情報を配信するコミュニティFM局の開局に向け、運営会社の設立や免許取得などの開設準備を行う
2. 南消防署建設事業 2億4,386万円
重要な防災拠点施設である南消防署（花泉町地内）の老朽化に伴う建て替え事業
3. 防災行政情報システム整備事業 **新規** 3,860万円
市内全域に防災行政情報を一斉伝達できる防災行政無線（同報系・移動系）と、消防救急無線（消防団無線含む）の一体的整備に向けた実施設計等
4. 学校施設耐震化 11億8,418万円
〔建て替え〕 川崎中学校校舎・屋体
〔耐震改修・大規模改修〕 山目小学校校舎、東山中学校校舎【新規】
〔耐震補強〕 千厩小学校校舎、長坂小学校屋体、中里中学校校舎、舞川中学校校舎、興田中学校校舎、猿沢中学校屋体
〔耐震改修実施設計〕 磐清水小学校校舎【新規】
5. 木造住宅の耐震診断・耐震改修工事助成 3,203万円
昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断を実施し、危険な住宅に対して改修費を助成
6. 防災マップ・土砂災害ハザードマップの作成 **新規** 840万円
市民一人ひとりが自分の生活する地域が抱える様々な地理的危険要因を理解し、災害時には正しい知識と判断で行動できるよう、危険箇所や避難場所、防災に関する知識などをまとめたマップ等を作成

平泉文化遺産の世界遺産登録に向けた支援

1. 「平泉の玄関口」としての受け皿づくり **新規** 9,007 万円
 - ◆平泉世界遺産登録記念看板設置事業（※）
 - ◆西口北駐車場拡張整備事業（※）
 - ◆駅前広告塔更新事業

2. 「平泉の文化遺産」の世界遺産登録祈念・記念事業等 **新規** 448 万円
 - ◆登録祈願ウォーキング事業（※）
 - ◆平泉世界遺産登録記念事業負担金（※）〔県・平泉町・奥州市との共同事業〕
 - ◆登録記念一ノ関駅屋上広告看板書き替え、懸垂幕設置等
 - ◆登録記念植樹
 - ◆登録記念シンポジウム開催（両磐地区広域市町村圏協議会）
 - ◆博物館テーマ展開催
 - ◆平泉ナンバーを実現させる会負担金（※）

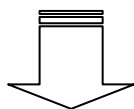
3. 骨寺村荘園遺跡の追加登録に向けた取り組み 2 億 8,522 万円
 - ◆骨寺村荘園地区整備事業（交流館展示棟建築、駐車場整備等）
 - ◆世界遺産登録推進事業（講演会開催、推薦書の作成等）
 - ◆遺跡活用事業（遺跡ガイド、地元学等）
 - ◆埋蔵文化財調査事業（遺跡所在確認調査等）
 - ◆村落景観調査研究事業（自然系調査等）
 - ◆文化財調査研究員、遺跡村落調査専門員、遺跡専門員の配置
 - ◆文化的景観保全事業（国の選定を受けた重要建物の修理修景）
 - ◆景観形成事業（条件に適合した新築等に対する助成、景観審議会等）
 - ◆県営景観保全農地整備事業負担金、世界遺産枠負担金
 - ◆伝統的水路等保全事業、農業用施設維持補修費
 - ◆資源保全管理推進事業（景観保全、維持作業に係るワークショップ等）
 - ◆観光地間二次交通整備事業（バス運行、レンタカー利用等への助成）
 - ◆ときめき世界遺産塾負担金（小中学生・高校生対象の学習会）
 - ◆交流促進事業（お田植え祭、稲刈り祭の開催）



「平泉の文化遺産」世界遺産登録

平成 23 年 5 月

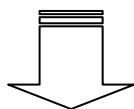
国際記念物遺跡会議（イコモス）からの勧告



6 月 19 日～29 日

第 35 回世界遺産委員会（バーレーン）

イコモス勧告を参考に登録の可否について審議



世界遺産登録



For
World Heritage
HIRAIZUMI
2011

4. 経済対策

地域経済の活性化、雇用の確保・創出を図るため、後年度計画事業の前倒し、市民要望の多い生活道路の整備や修繕、公共施設の修繕や環境整備などを中心に、大規模な経済対策事業を実施します。

※「重点施策に係る主な事業」の再掲が含まれています。

(1) 23年度予算 25億5,937万円

① 保育園等の備品更新	720万円
② 農業用水路など農業施設の改修等	1,675万円
③ 林道の改良、舗装等	2,250万円
④ 年末年始連合大売り出し事業補助金	524万円
⑤ 工業団地送水施設の改修等	3,960万円
⑥ 観光散策路の整備	800万円
⑦ 歩道の整備	1,500万円
⑧ 道路の維持補修	5億4,200万円
⑨ 橋梁の修繕	1億440万円
⑩ 生活道路等の改良、舗装	4億8,420万円
⑪ 地域間を結ぶ道路等の改良	2億2,800万円
⑫ 河川や水路の改修	3,030万円
⑬ 公園施設の整備	3,760万円
⑭ 市営住宅の修繕等	2,500万円
⑮ 住宅リフォーム助成事業	1,608万円
⑯ 救急資器材や消防車両等の更新	3,730万円
⑰ 幼稚園や小中学校の修繕等	3,800万円
⑱ スクールバスの更新	4,200万円
⑲ 社会教育施設の備品更新	2,100万円
⑳ 簡易水道の整備推進	7億7,000万円
㉑ マイクロバスや道路維持車両等の更新	5,190万円
㉒ その他公共施設の修繕・改修・環境整備等	1,730万円

(2) 22年度からの繰り越し事業等 11億7,461万円

※国の「きめ細かな交付金」「住民生活に光をそそぐ交付金」などに対応した
22年度3月補正予算に計上する経済対策事業

〔きめ細かな交付金に対応した事業〕

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ① 地上デジタル放送を活用した災害防災情報発信事業 | 2,250万円 |
| ② 各支所と各公民館でCATVの視聴を可能にする設備整備 | 2,521万円 |
| ③ 公共施設の耐震診断（保育園、幼稚園、公民館、消防本部、庁舎等） | 4,553万円 |
| ④ 国民体育大会開催に向けた施設改修等 | 1億7,710万円 |
| ⑤ 観光施設の修繕等 | 4,607万円 |
| ⑥ 公園トイレの洋式化、遊具修繕等 | 4,100万円 |
| ⑦ 工業団地の環境整備等 | 673万円 |
| ⑧ 不法投棄監視カメラの設置 | 840万円 |
| ⑨ 公民館など社会教育施設等の修繕、環境整備等 | 5,676万円 |
| ⑩ 統合型GISの導入 | 1,100万円 |
| ⑪ 庁舎の省エネ化、設備更新等 | 1億2,910万円 |

〔住民生活に光をそそぐ交付金に対応した事業〕

- | | |
|------------------------|---------|
| ① 要援護者への救急医療情報キット配布 | 250万円 |
| ② 農業技術開発センターの土壌分析機器購入等 | 565万円 |
| ③ 岩手県南技術研究センター機器整備補助金 | 1,864万円 |
| ④ 小中学校の図書購入 | 2,400万円 |
| ⑤ 図書館の図書購入 | 1億円 |

〔農山漁村地域整備交付金等に対応した事業〕

- | | |
|---------------------|-----------|
| ○ 県営経営体育成基盤整備事業負担金等 | 1億5,442万円 |
|---------------------|-----------|

〔市独自の経済対策として実施する事業〕

- | | |
|-----------|-----|
| ○ 道路の維持補修 | 3億円 |
|-----------|-----|

2か年を通じた経済対策合計 37億3,398万円

《参考》 ◆これら経済対策の実施による雇用者見込み 746人

※事業費500万円で1人の雇用が確保・創出されるものとして試算

◆緊急雇用事業など県の基金を活用した雇用対策事業を加えた
総雇用者見込み 956人

5. 予算の構造〔一般会計〕

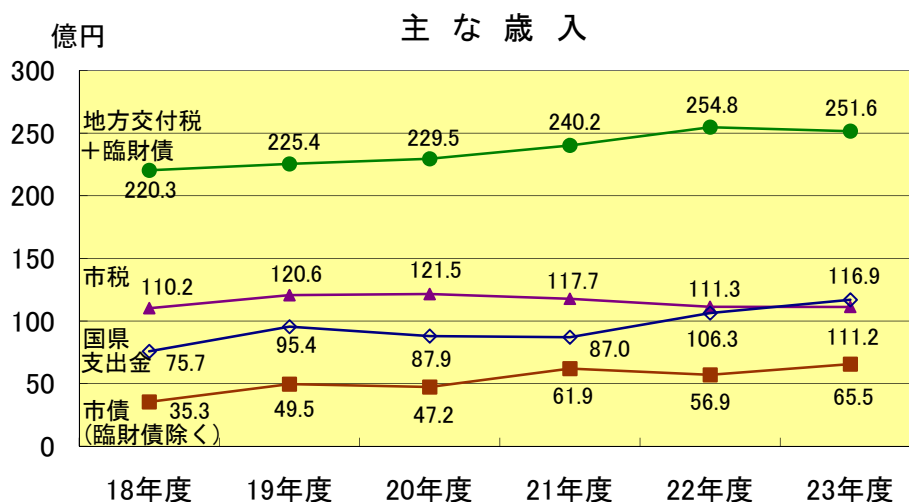
(1) 歳入

【自主財源】 145.6億円 (前年比 +1.0億円 +0.7%)

- ・市税 Δ 0.2億円 Δ 0.2%
- ・繰入金 + 3.5億円 +52.2%
- ・諸収入 Δ 2.0億円 Δ 16.6% など

【依存財源】 458.9億円 (前年比 +14.6億円 +3.3%)

- ・地方交付税+臨時財政対策債 Δ 3.2億円 Δ 1.2%
- ・譲与税、交付金 Δ 1.4億円 Δ 5.3%
- ・国県支出金 +10.6億円 +9.9%
- ・市債(臨時財政対策債除く) +8.6億円 +15.0%



◆財政調整基金繰入金

8.6億円 (前年比 +3.2億円 +59.5%)

(2) 歳出

【義務的経費】 291.1億円 (前年比 △0.2億円 △0.1%)

・人件費 △2.7億円 △2.2%

・扶助費 +8.3億円 +10.6%

・公債費 △5.8億円 △6.2%

※子ども手当・児童手当を除く義務的経費前年比 △3.4億円 △1.3%

【投資的経費】 108.9億円 (前年比 +13.5億円 +14.2%)

・普通建設事業費 +13.5億円 +14.2%

・災害復旧事業費 ±0億円 ±0%

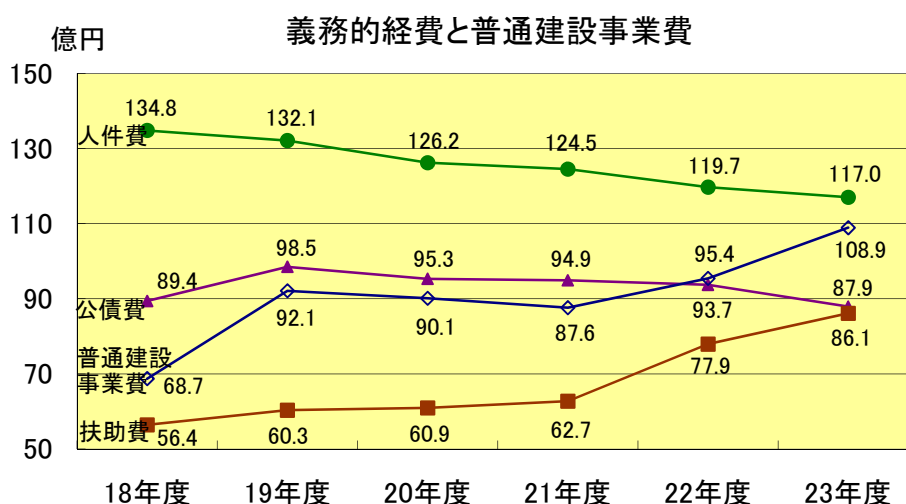
【その他の経費】 204.5億円 (前年比 +2.3億円 +1.1%)

・物件費 +5.2億円 +8.8%

・積立金 +2.7億円 +48.3%

・補助費等 +2.1億円 +2.9%

・維持補修費 △6.4億円 △30.9% など



6. 行財政改革の効果

23年度の主な取り組み分 5億7,718万円

- 【職員の削減】 3億4,072万円**
退職者の不補充等 40人の減
- 【補助金等の見直し】 1,905万円**
削減等 77件、廃止 4件
- 【経費の節減合理化】 2,456万円**
内部事務費の削減、経費の見直し等
- 【公の施設の管理運営見直し】 2,758万円**
指定管理者制度の導入 2件、施設の廃止 4件
- 【事務事業の整理合理化】 584万円**
インセンティブ予算の導入による事務事業の見直し等
- 【その他】 1億5,943万円**
広告掲載事業、遊休財産の売却、税等の徴収対策等

7. 23年度末地方債残高の見込

会計名	22年度末 残高見込 千円	23年度中増減		23年度末 残高見込 千円	市民一人当り 23年度末 残高見込 (H22.12.31現在 人口119,934人) 円
		年度中 起債見込額 千円	年度中 償還見込額 千円		
一般会計	75,750,325	9,404,108	7,693,723	77,460,710	645,861
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	714,236	10,900	41,182	683,954	5,703
介護サービス事業特別会計	154,999		7,427	147,572	1,230
土地取得事業特別会計	13,000		3,240	9,760	81
都市施設等管理特別会計		96,000		96,000	800
工業団地整備事業特別会計	29,279		12,542	16,737	140
市営バス事業特別会計	146,569		16,634	129,935	1,083
簡易水道事業特別会計	12,580,088	1,261,800	453,711	13,388,177	111,630
下水道事業特別会計	20,466,849	780,700	796,709	20,450,840	170,518
農業集落排水事業特別会計	3,054,083		154,785	2,899,298	24,174
浄化槽事業特別会計	672,469	52,400	13,088	711,781	5,935
計	113,581,897	11,605,908	9,193,041	115,994,764	967,155